

対象国の条件 : 中南米地域

研修コース番号 : 201984719-J002

案件番号 : 201984719

主分野課題 : 農村開発/農村生活環境改善

副分野課題 : ジェンダーと開発/ジェンダーと開発

使用言語 : 西語

案件概要

中南米地域の国々は、相対的に所得水準が高い国が多いものの、生活水準の低い貧困地域においては生活改善のニーズは高い。これまで生活改善研修に参加した帰国研修員は、貧困地域で活発な生活改善活動を展開しており、一部では政策レベルに反映されるなどの成果が出ている。一方で、普及対象地域拡大にあたり、普及担当者に普及手法を定着させることが課題となっている。本研修では、生活改善アプローチの普及手法を学び、さらなる生活改善アプローチの普及を担う普及員の育成を目指す。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 生活改善アプローチの普及手法を学び、普及員育成につながる実践計画を立てる。</p> <p>【成果】 ①生活改善アプローチの基本的な考え方を理解し、所属組織や対象地域等の課題が抽出される（インセプションレポート作成） ②日本や中南米地域における生活改善普及事業の政策や制度、活動実践事例を理解する ③生活改善アプローチの普及手法を習得する ④普及拡大のための、普及員育成制度が検討される ⑤帰国後の活動計画（アクションプラン）案が策定される ⑥中南米地域における帰国研修員による生活改善活動を視察し、帰国研修員や対象住民との意見交換を通じてアクションプラン案を見直し、アクションプラン最終版が策定される（在外補完プログラム）</p>	<p>【対象組織】 農村開発分野において、コミュニティへの普及を担当する中央政府、地方政府、NGO、等</p> <p>【対象人材】 (1) 政府より推薦された者 (2) 農村開発分野において、コミュニティへの普及事業計画・事業実施等を担当する者 (3) 上記実務経験を3年以上有する者 (4) 大卒、短大卒の学歴を有する者 (5) 年齢が30歳以上45歳以下の者 (6) 心身ともに健康であり、女性は妊娠していない者。</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>【事前プログラム】 ①マルチメディア教材を活用して事前学習 ②インセプションレポートの作成（課題の抽出・分析）</p> <p>【本邦研修】 以下の内容について、講義、ワークショップ、現地研修、討論、発表等 ①インセプションレポートの発表 ②日本における生活改善普及事業の政策や制度、生活改善実施例 ③生活改善アプローチの特徴と普及手法（主体性形成、生活技術の改善、地域資源の活用、栄養改善、等） ④普及員育成制度の検討（資格制度、研修制度） ⑤生活改善活用案（ドラフト）の作成、発表</p> <p>【在外補完研修】 ①帰国研修員の活動視察や意見交換等 ②生活改善活用案（最終版）の作成、発表</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>2019/10～2019/11</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>農村開発部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA筑波（研修業務）</p>
	<p>関係省庁</p>	
	<p>実施年度</p>	<p>2019～2021</p>

<p>主要協力機関</p>	<p>調整中</p>
<p>特記事項及びホームページ</p>	<p>・帰国研修員の実践活動を共有するための在外補完研修(1週間)を実施予定</p>